

つくばキャンパスにおけるドミトリー整備計画に関するアンケート実施結果

① アンケートの概要

a. 調査の目的

つくばキャンパスにおけるドミトリー整備計画の実施に向けて、利用者のニーズを把握し、今後の事業計画の参考資料として活用することを目的とする。

b. 調査方法

(ア) 調査対象：平成 29 年度 KEK 共同利用者支援システム登録者

(イ) 調査方法：メールにて一斉配信後、アンケートサイトにて回答

(ウ) 調査期間：平成 29 年 10 月 20 日（金）～平成 29 年 11 月 6 日（月）

c. 調査票の配布及び回収結果

(ア) 標本数： 配付 5180

戻り分 887

(イ) 回収率：17%

d. 本調査を行うにあたって

(ア) 調査結果の数値は、原則としてパーセンテージ(%)で表記した。%値の母数は、原則としてその質問に対する回答者数(回答すべき人の数)である。

(イ) 図表中の選択肢の内容について、一部省略している場合がある。また、図の一部において、構成比の少ない項目の構成比の値を省略している場合がある。

(ウ) 調査結果の数値をパーセンテージ(%)で表記する際に、四捨五入しているため合計が 100%とならない場合がある。

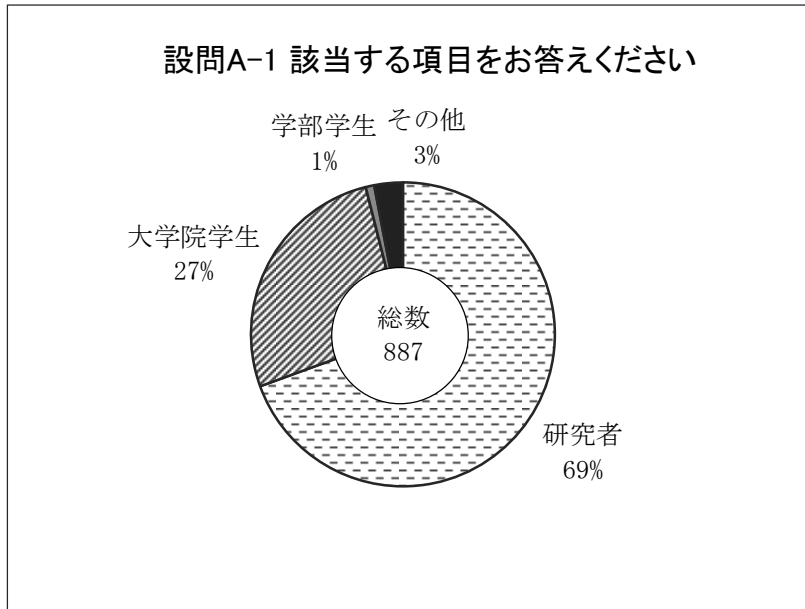
② 調査結果

以下に、回答者属性及び各質問の結果を示す。

a. 回答者属性

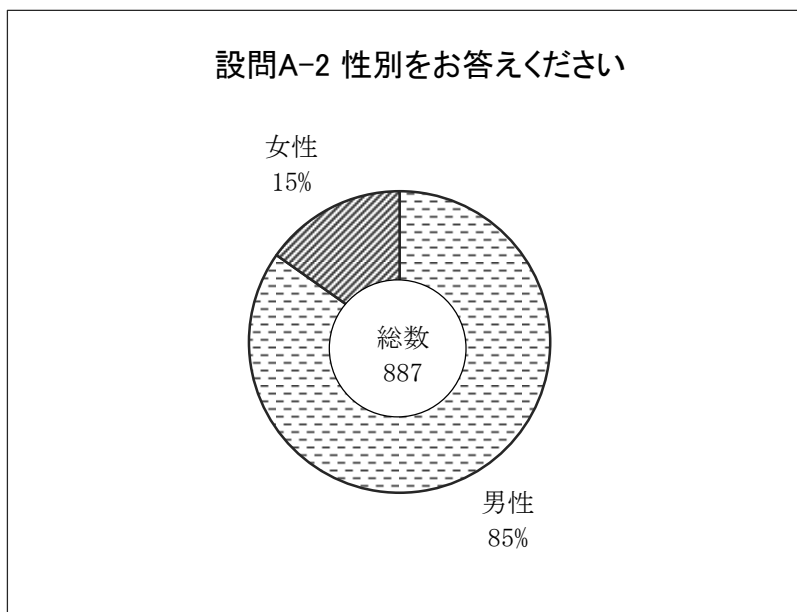
(ア) 所属

研究者の割合が最も高く、69%であり、次いで大学院学生が27%であった。研究者と大学院学生でほとんどの割合を占めた。



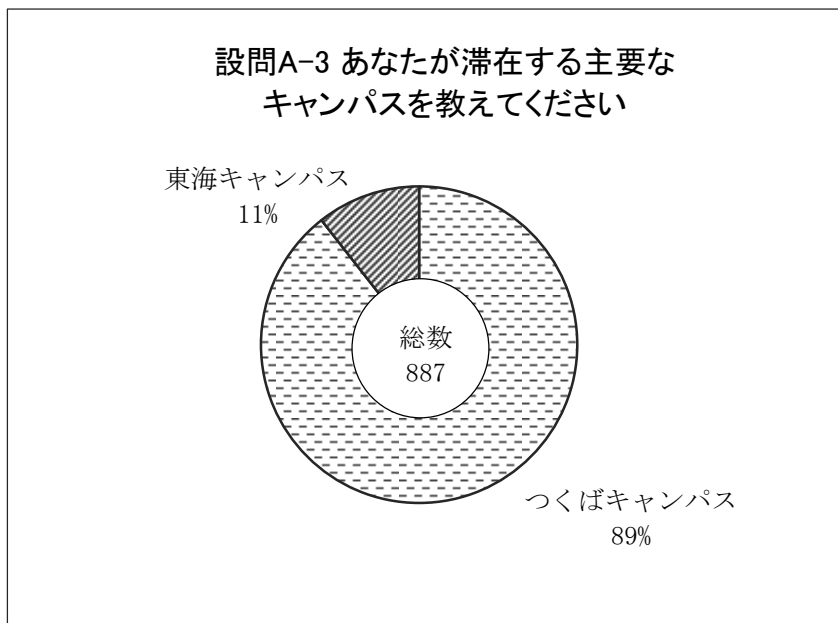
(イ) 性別

男性の割合が高く、85%であった。



(ウ) 滞在主要キャンパス

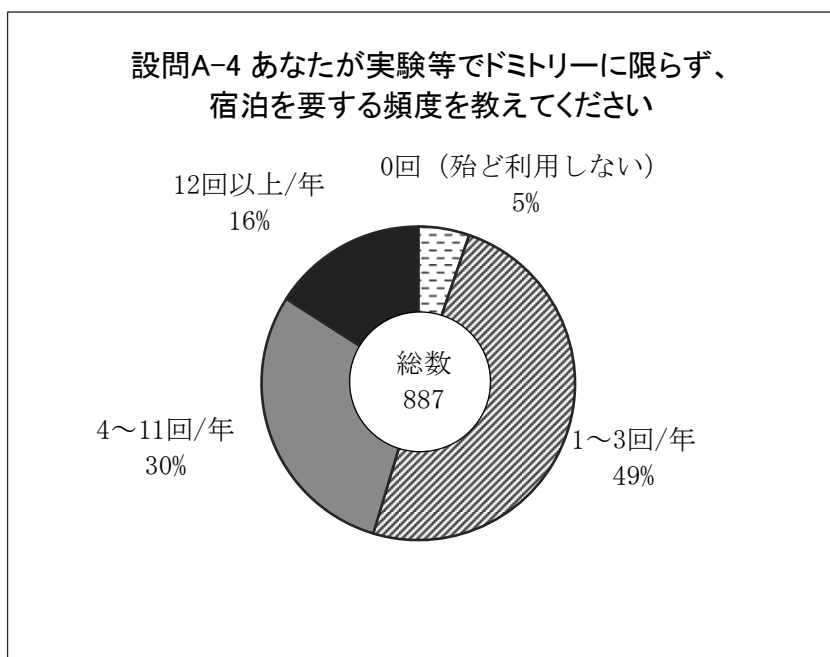
主につくばキャンパスに滞在する者の利用割合が高く、89%であった。つくばキャンパスにおけるドミトリーの利用者調査であるため、妥当な割合だと言える。



b. アンケート調査内容

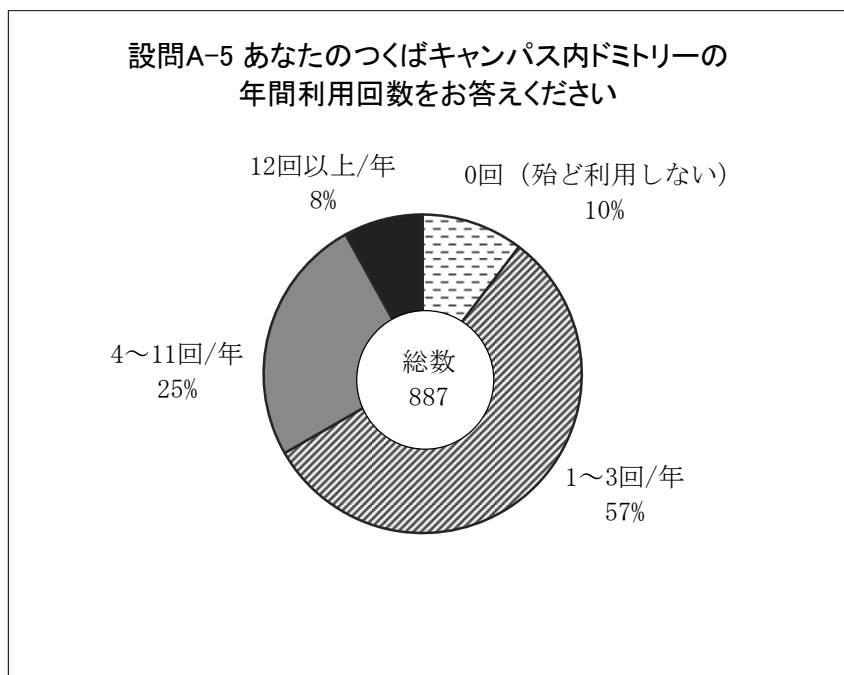
(ア) 宿泊頻度

宿泊頻度は、年に1～3回の割合が49%で最も多く、約半数であった。0回の割合はわずか5%であり、ほとんどの利用者が年に1回以上宿泊施設を利用していることが把握された。



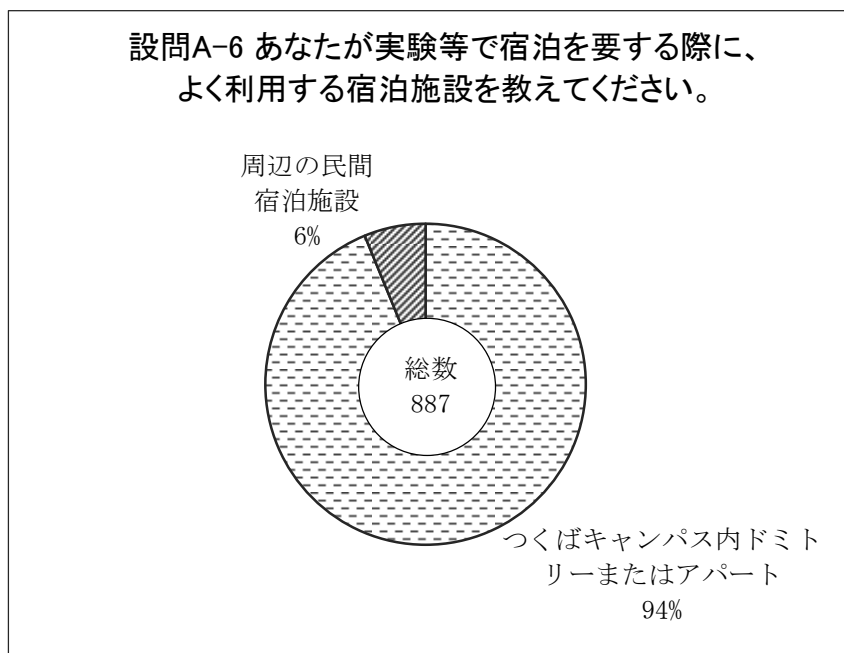
(イ) ドミトリー年間利用回数

つくばキャンパス内のドミトリーの年間利用回数は、年に1～3回の割合が57%で最も多く、過半数であった。0回の割合は10%であり、宿泊頻度と同じようにほとんどの利用者が年に1回以上ドミトリーを利用していることが把握された。



(ウ) 利用回数の多い宿泊施設

つくばキャンパス内のドミトリーもしくはアパートの利用者が多く、94%を占める結果となった。

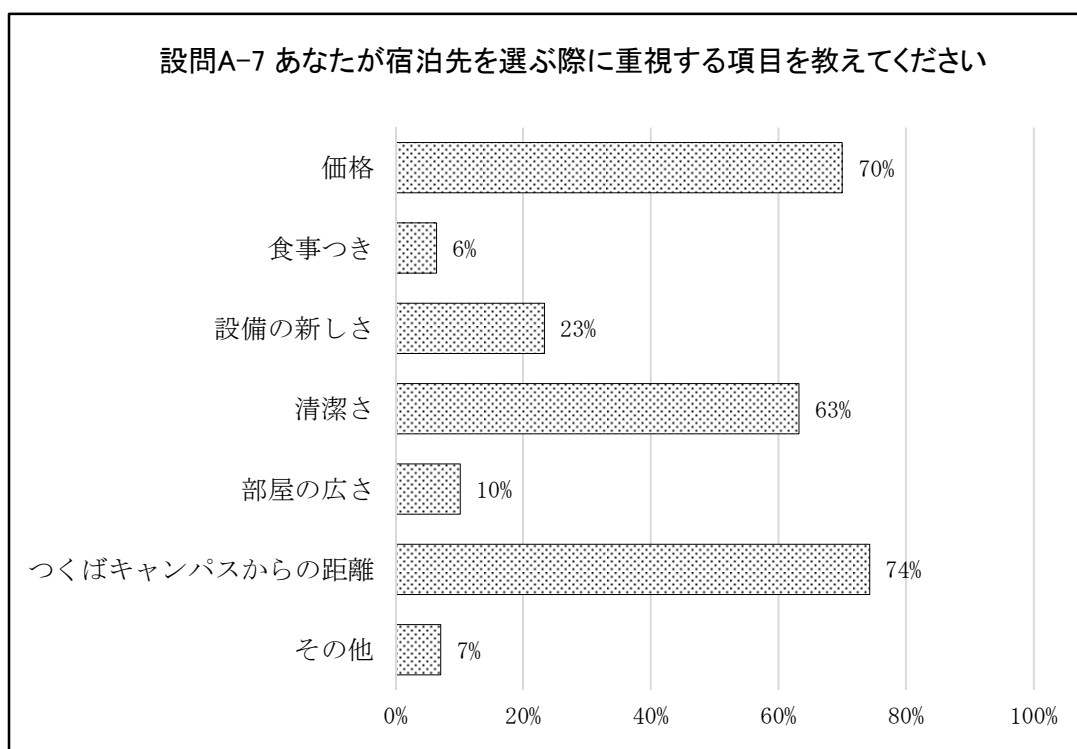


(エ) 利用回数の多い周辺施設（その他回答）

| A-6 あなたが実験等で宿泊を要する際に、よく利用する宿泊施設を教えてください。[その他] | |
|---|----|
| アーバンホテル | 6 |
| オークラ | 6 |
| ダイワロイネット | 6 |
| 二の宮ハウス | 4 |
| ホテル東雲 | 3 |
| その他 | 31 |

(オ) 選択重視項目

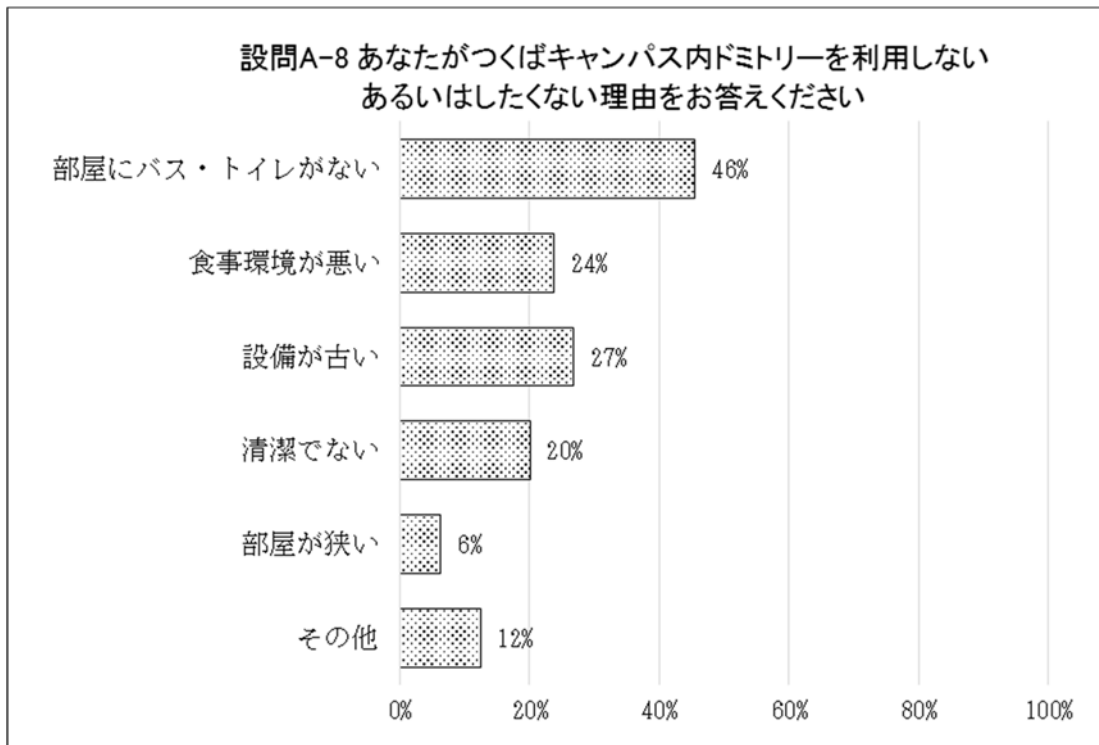
宿泊先を選ぶ際には、つくばキャンパスからの距離を重視する利用者が最も多く、**74%**であった。また、次いで重視する項目として価格があげられ、**70%**であった。食事つきであること、部屋の広さはあまり重視されていないことが把握された。



| A-7 あなたが宿泊先を選ぶ際に重視する項目を教えてください。[その他] | |
|--------------------------------------|----|
| バス・トイレ付の部屋 | 20 |
| 住環境(冷暖房などの快適さ) | 7 |
| 交通の便 | 7 |
| 食事環境 | 5 |
| インターネット環境 | 5 |
| その他 | 21 |

(カ) ドミトリーを利用しない理由

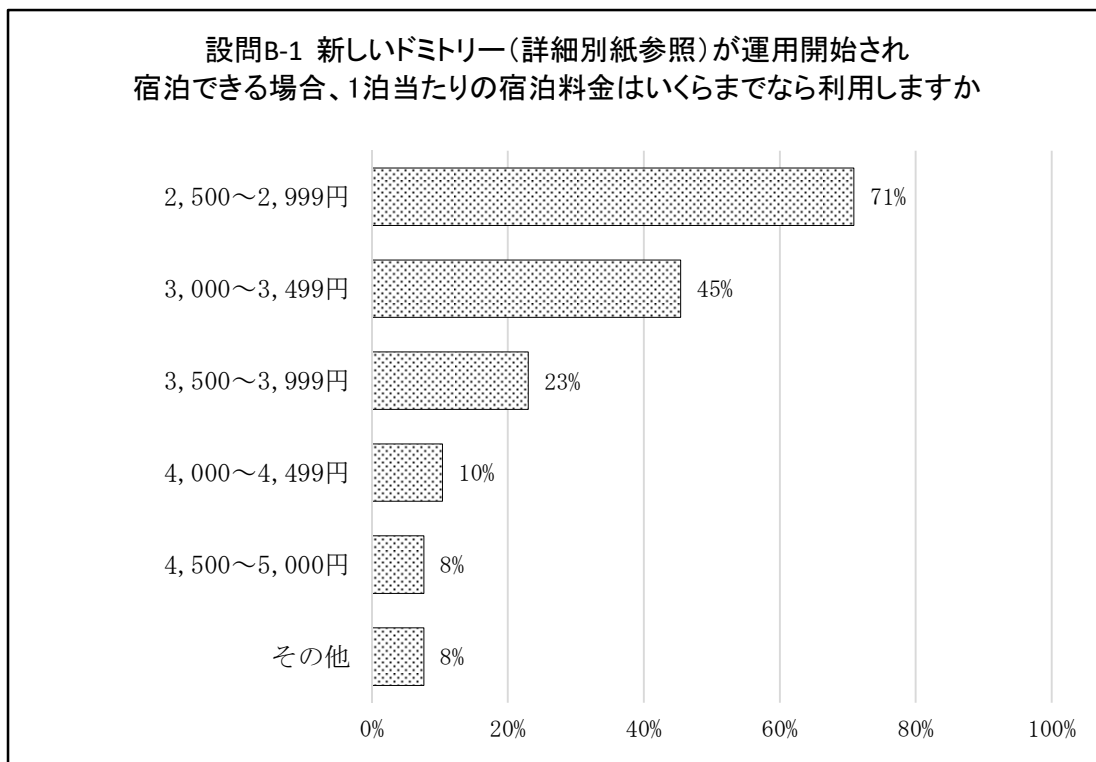
部屋にバス・トイレがないという理由が最も割合が高く、46%であった。次いで設備が古いという理由が 27%、食事環境が悪いという理由が 24%で割合が高かった。



| A-8 あなたがつくばキャンパス内ドミトリーを利用しないあるいは利用したくない理由をお答えください。[その他] | |
|---|----|
| 冬の暖房が不十分 | 18 |
| 不衛生 | 11 |
| インターネット環境の不満 | 7 |
| バス・トイレ付の部屋が確保できない | 3 |
| 満室 | 3 |
| 食事環境が悪い | 3 |
| その他 | 63 |

(キ) 新設ドミトリーの宿泊料金希望

1泊あたり、2,500～2,999円ならば利用するという割合が最も高く、71%であった。また、金額が上がるほど、利用するという割合が低くなるという結果となった。



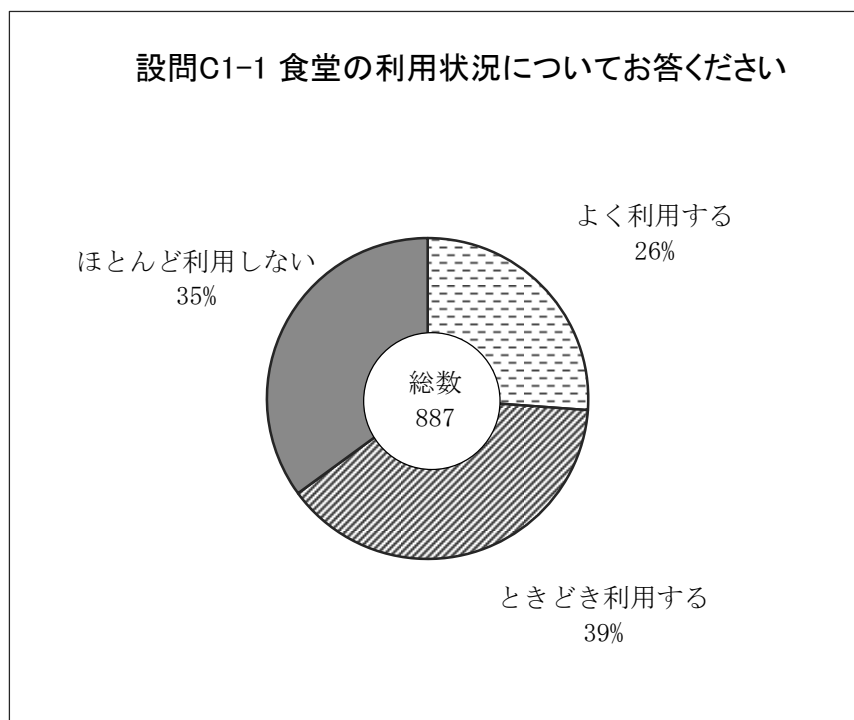
| B-1 新しいドミトリーが運用開始され宿泊できる場合、1泊当たりの宿泊料金はいくらまでなら利用しますか。(その他) | |
|---|----|
| 1,500-2,000(現状) | 25 |
| 2000-2500 | 9 |
| 2500- | 3 |
| その他 | 12 |

(ク) つくばキャンパス内の現在の食堂・喫茶室・売店の利用状況 a

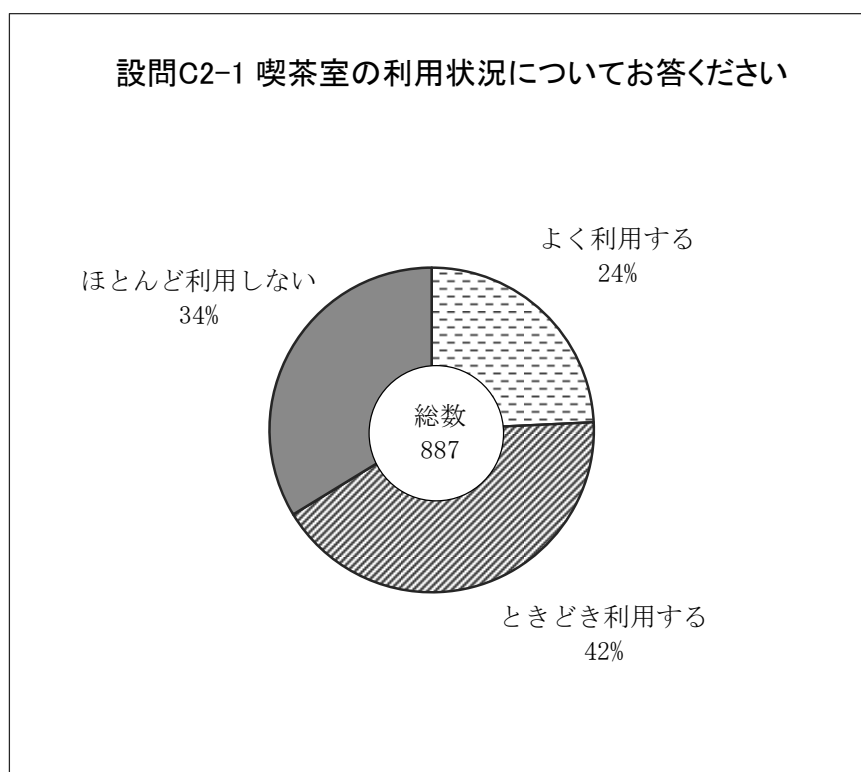
①利用頻度

施設利用者は、売店の利用頻度が特に高かった。また、食堂と喫茶室の利用頻度の内訳は、類似した結果となった。

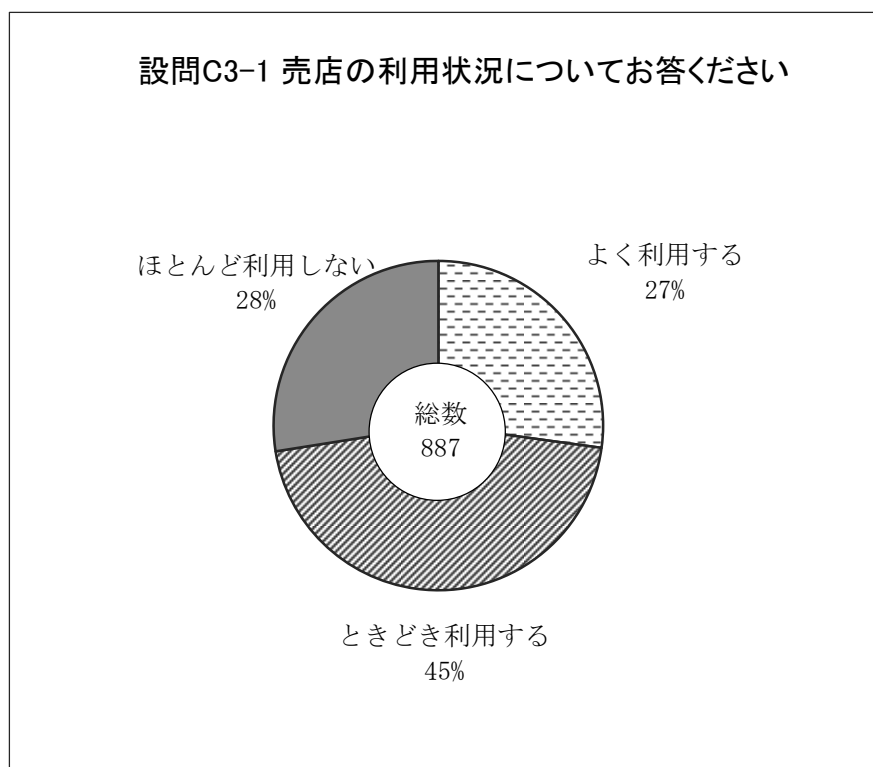
■ 食堂



■ 喫茶室



■ 売店



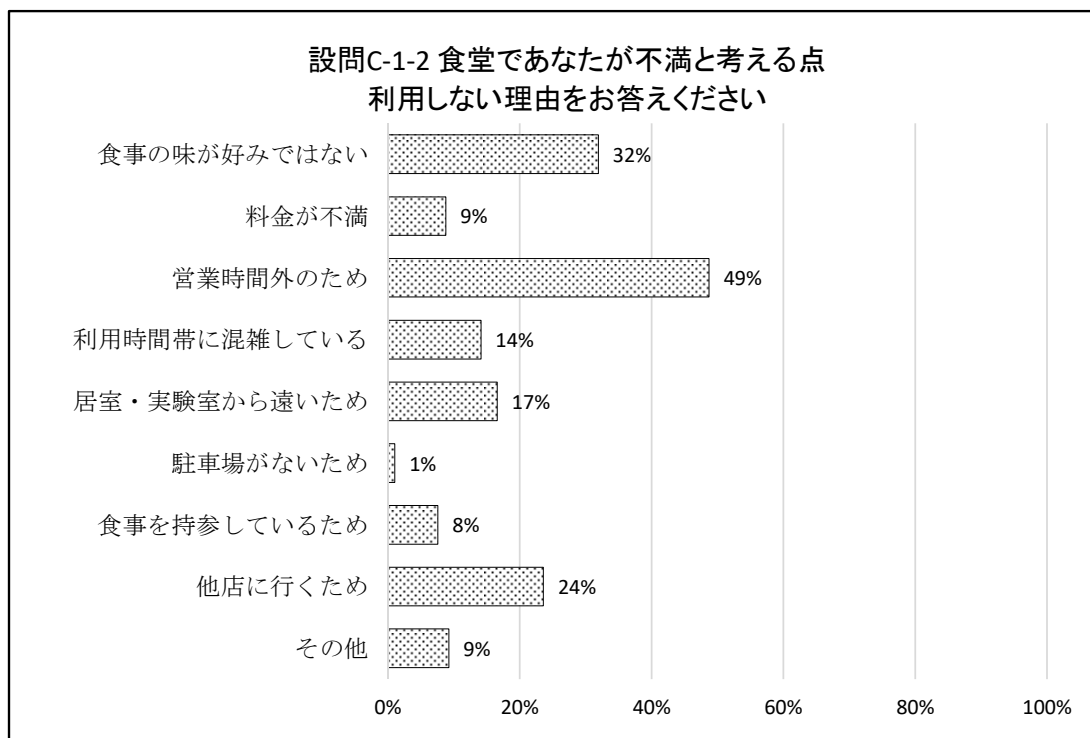
②不満な点・利用しない理由

食堂に対する不満な点や、利用しない理由は、「営業時間外のため」の割合が49%と最も高く、約半数の割合であった。次いで「食事の味が好みでない」の割合が32%、「他店に行くため」の割合が24%と高く、運営時間や提供される食事に不満やその要因があることが把握された。

また、喫茶室については、「営業時間外のため」の割合が24%と最も高く、次いで「他店に行くため」の割合が18%と高く、運営時間に関する不満やその要因があることが把握された。

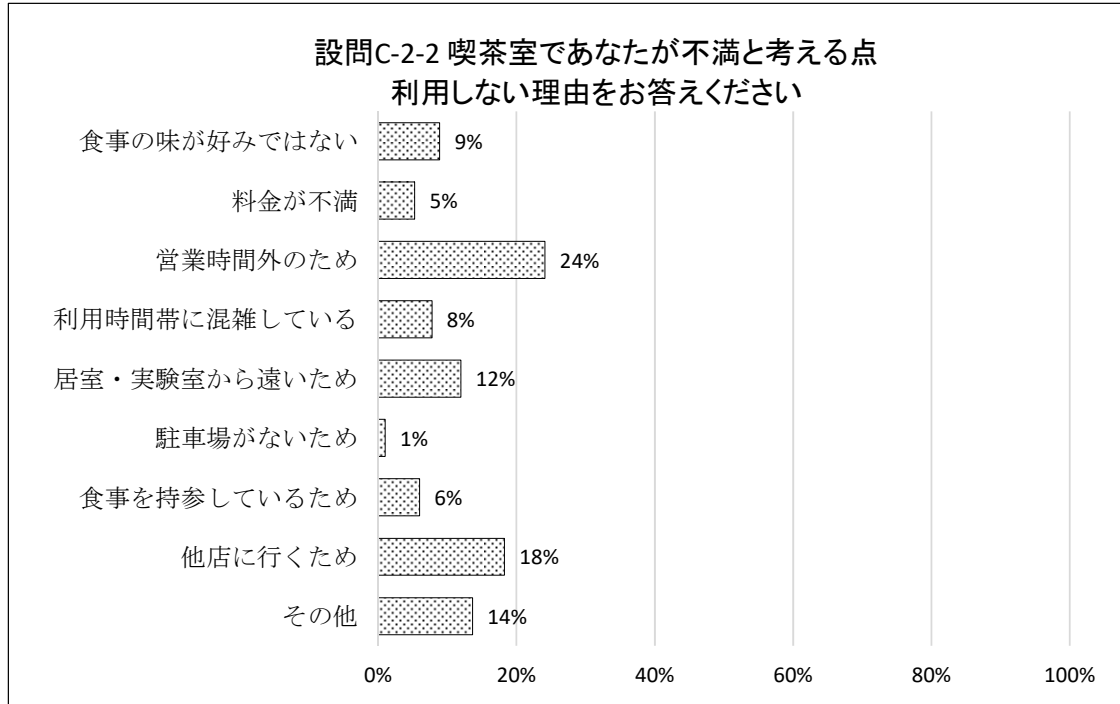
さらに、売店については、「営業時間外のため」の割合が35%と最も高く、売店に関しても運営時間に関する不満やその要因があることが把握された。

■ 食堂



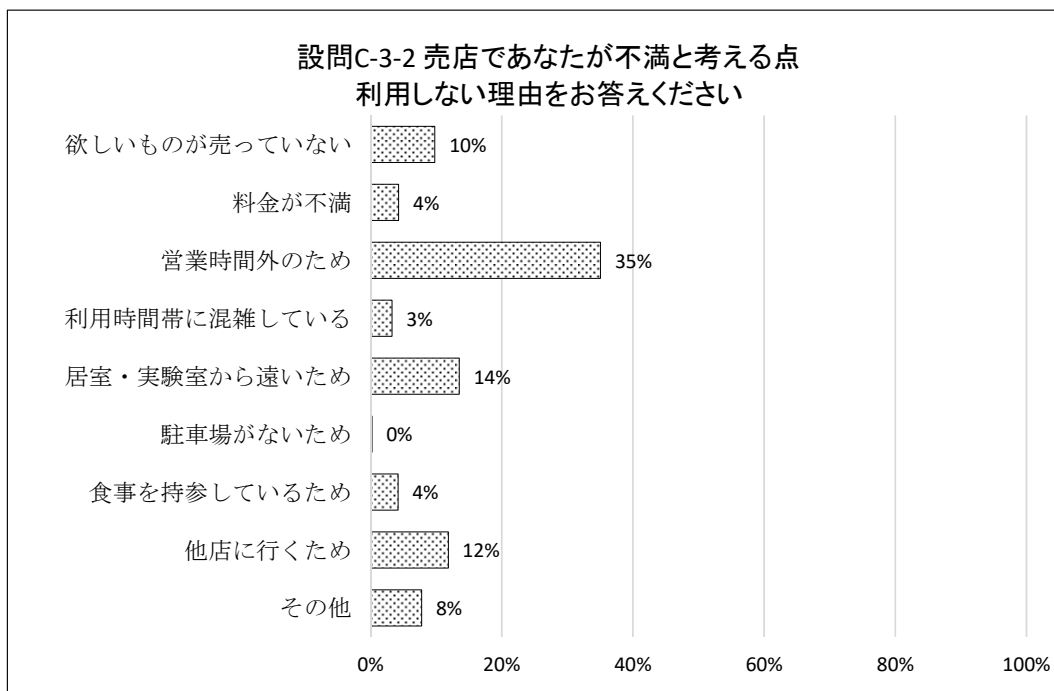
| C-1-2 あなたが食堂を不満と考える点・利用しない理由をお答えください。[その他] | |
|--|----|
| 営業時間 | 19 |
| メニューが少ない | 12 |
| ベジタリアンメニューがない | 8 |
| 満足 | 8 |
| その他 | 20 |

■ 喫茶室



| C-2-2 あなたが喫茶室を不満と考える点・利用しない理由をお答えください。(複数回答可) [その他] | |
|---|----|
| メニューが少ない | 49 |
| 営業時間 | 9 |
| ベジタリアンメニューがない | 6 |
| 満足 | 4 |
| その他 | 41 |

■ 売店



C-3-2 あなたが売店を不満と考える点・利用しない理由をお答えください。(複数回答可) [その他]

| | |
|--------------|----|
| 営業時間 | 12 |
| 品数の種類が少ない | 8 |
| 満足 | 4 |
| ベジタリアンフードがない | 2 |
| その他 | 31 |

C-3-2-1 C-3-2 売店で「欲しいものが売っていない」と回答した方にお聞きします。

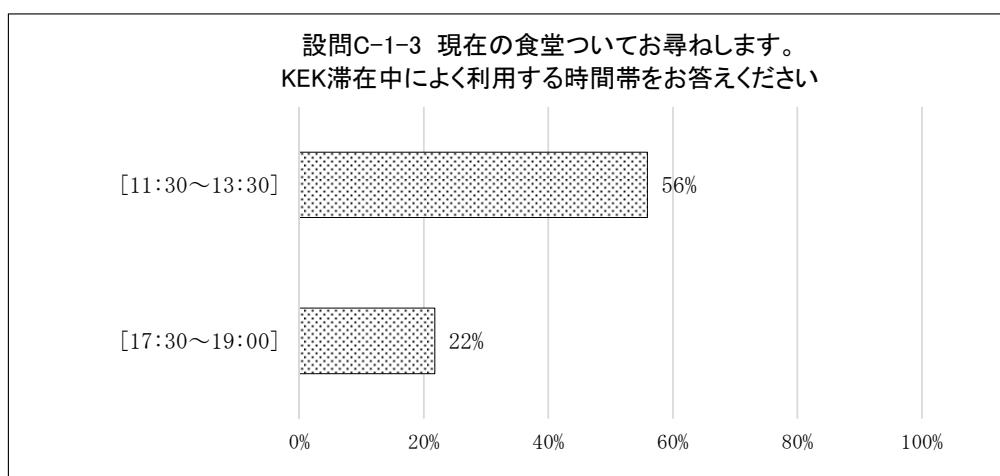
今後売店で取り扱ってほしい商品についてお答えください。

| | |
|-----------|----|
| 果物 | 7 |
| 野菜 | 3 |
| ヨーロピアンフード | 2 |
| その他 | 40 |

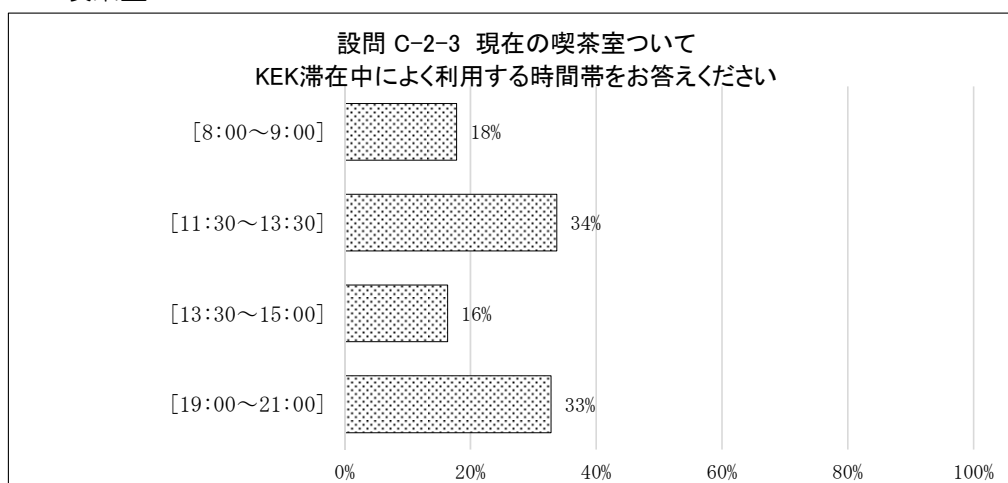
③利用時間帯

食堂の利用時間帯は、昼食の時間帯である[11:30～13:30]の利用者割合が56%であり、夕食の時間帯である[17:30～19:00]に比べ、大幅に利用者の割合が高かった。喫茶室の利用時間帯は、昼食の時間帯である[11:30～13:30]の利用者割合が34%、夕食の時間帯である[19:00～21:00]の利用者割合が33%であり、食事の時間帯が他の時間帯に比べ利用者の割合が高かった。売店の利用時間帯も、同様に、[11:30～13:30]の利用者割合が32%であり、[11:30～13:30]の利用者割合が28%であり、その他の時間帯に比べ利用者の割合が高かった。以上のことから、食堂、喫茶室、売店の利用者は、食事を目的とした利用が比較的多いことが把握された。

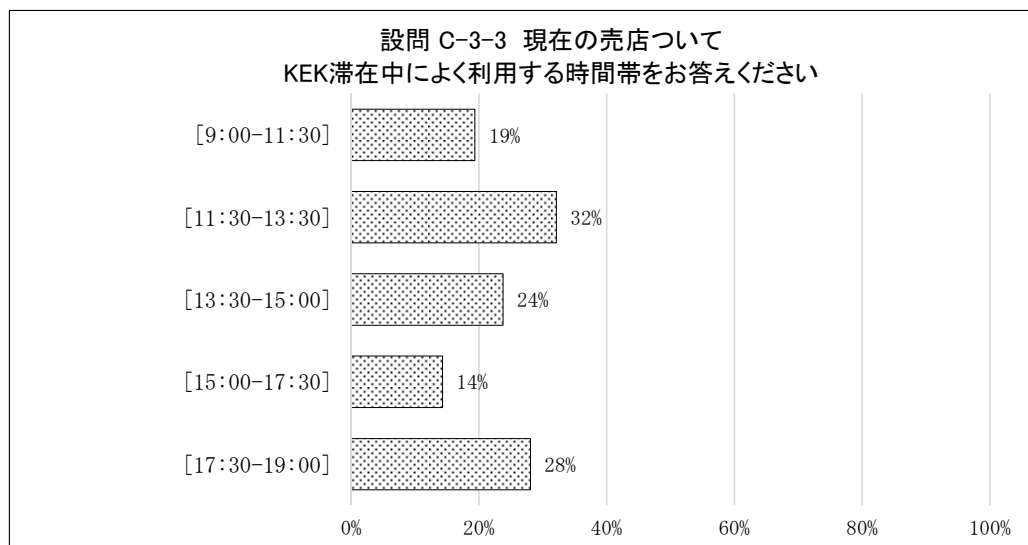
■ 食堂



■ 喫茶室

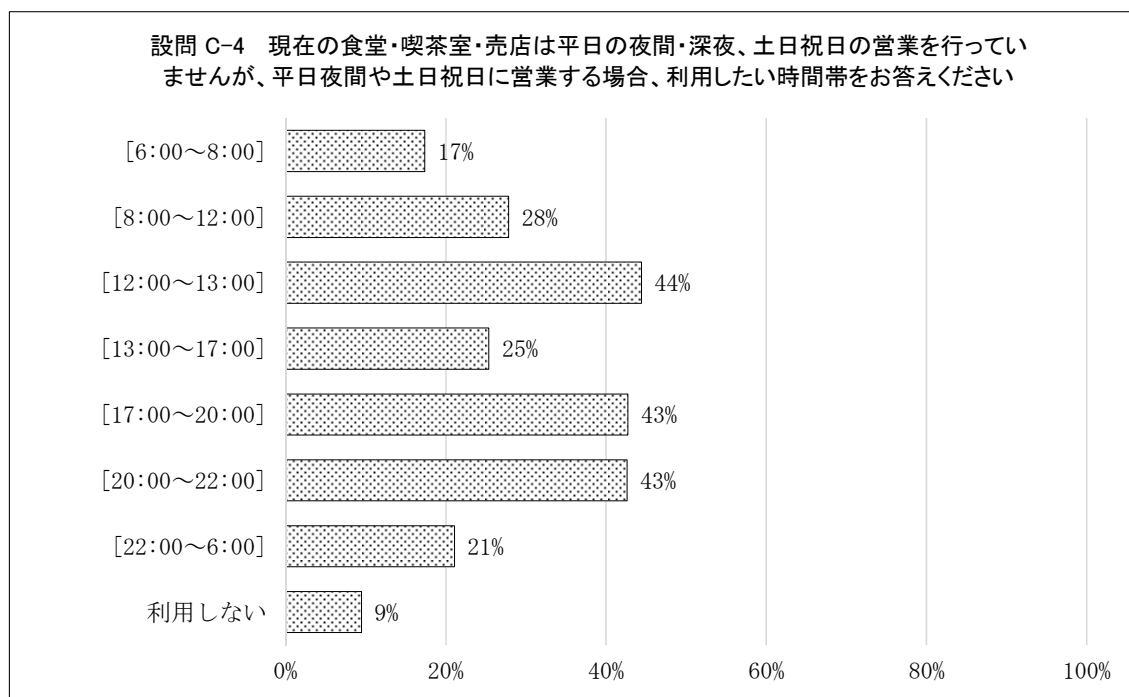


■ 売店



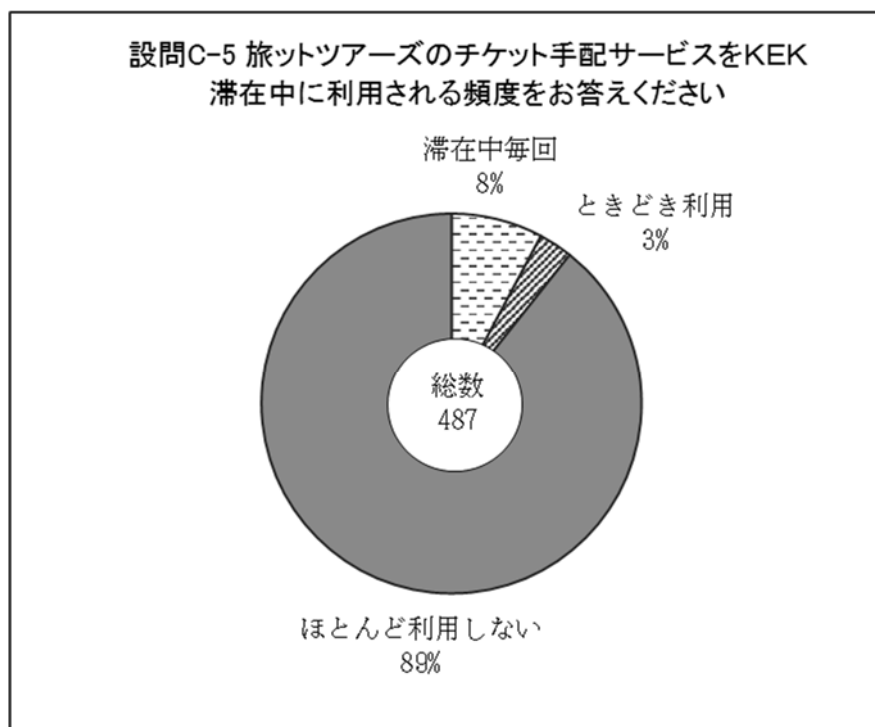
(ケ) 希望利用時間帯

食堂・喫茶室・売店が平日の夜間や、土日祝日に営業する場合の、利用希望時間帯については、[12:00～13:00]の割合が44%で最も高く、次いで[17:00～20:00]と[20:00～22:00]が共に43%であった。



(コ) 旅トツアーズのチケット手配サービス利用頻度

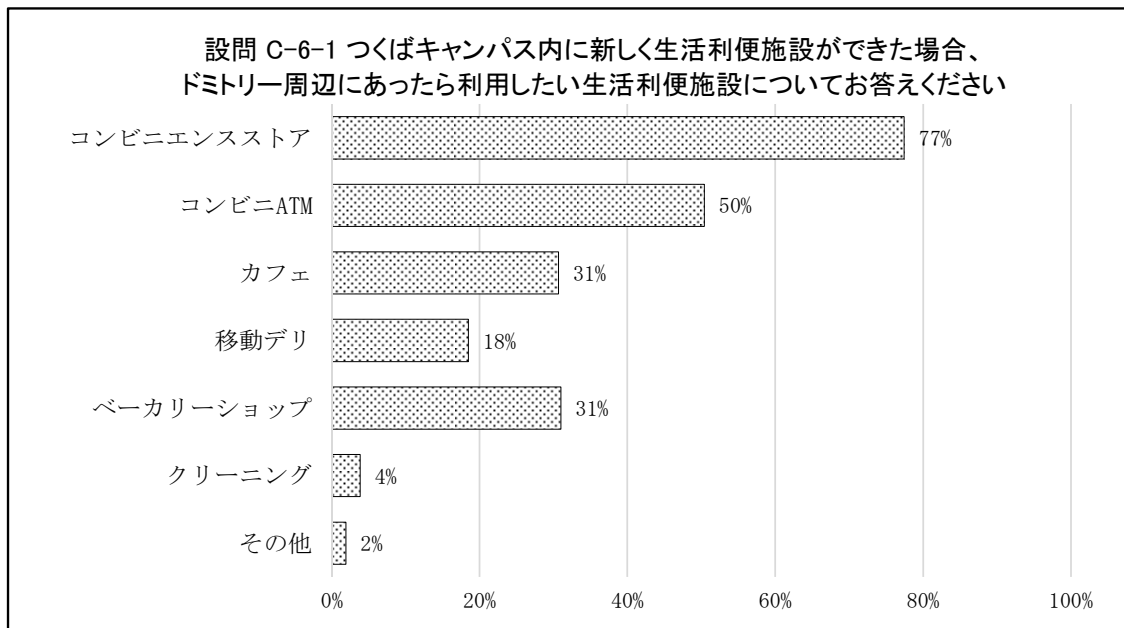
つくばキャンパス内で実施している現在の旅トツアーズ（職員会館1階）のチケットの手配サービス（航空券、高速バス、JR乗車券等）の利用頻度については、「ほとんど利用しない」の割合が89%であり、利用頻度が低いことが把握された。



(サ)つくばキャンパス内の生活利便施設新設に対する意識

①利用希望施設

つくばキャンパス内に新しく生活利便施設ができた場合の利用希望については、「コンビニエンスストア」の割合が77%で最も高く、次いで「コンビニ ATM」を割合が50%であった。また、「クリーニング」の割合は4%でありクリーニングの利用を希望する割合はわずかであった。

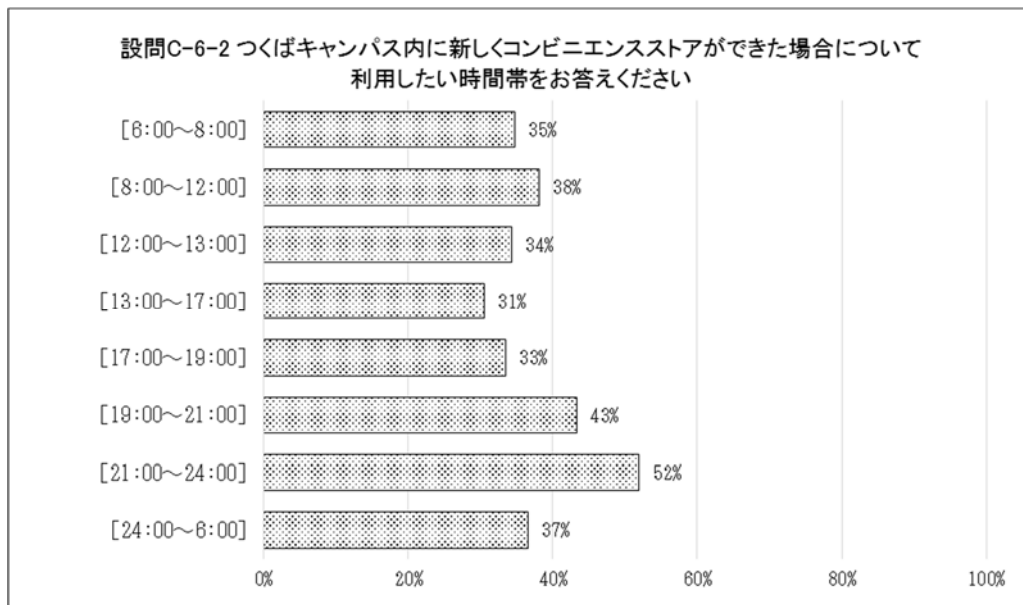


C-6-1 つくばキャンパス内に新しく生活利便施設ができた場合、ドミトリー周辺にあったら利用したい生活利便施設についてお答えください。[その他]

| | |
|--------|----|
| 飲食店 | 5 |
| スポーツ施設 | 4 |
| その他 | 10 |

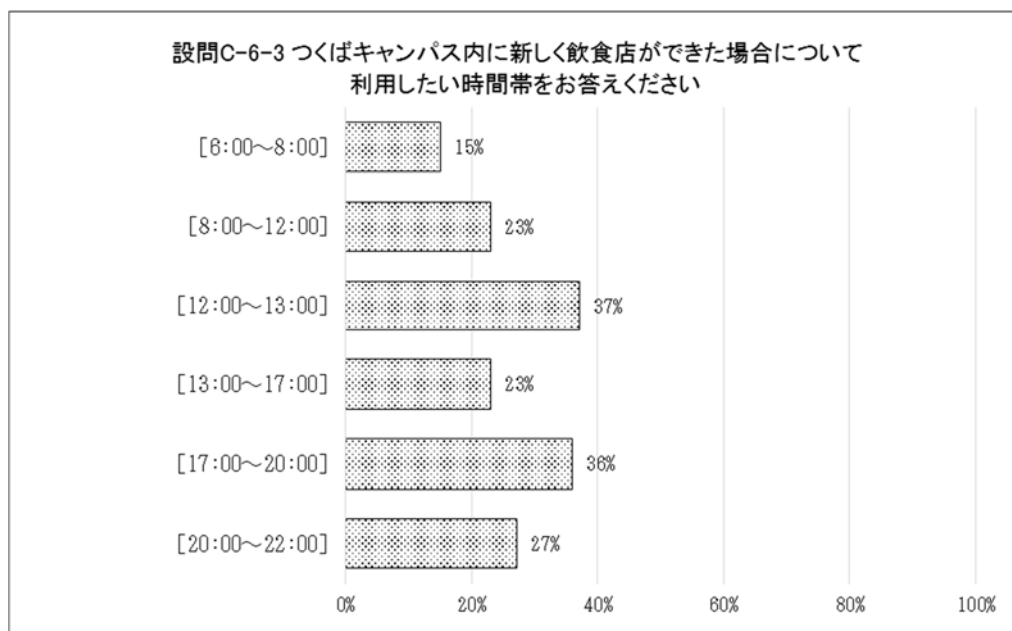
②新設コンビニエンスストアの利用希望時間

[21:00~24:00]の割合が最も高く、67%であり、次いで[19:00~21:00]の割合が56%であった。以上より、夜間の利用希望が特に多いことが把握された。



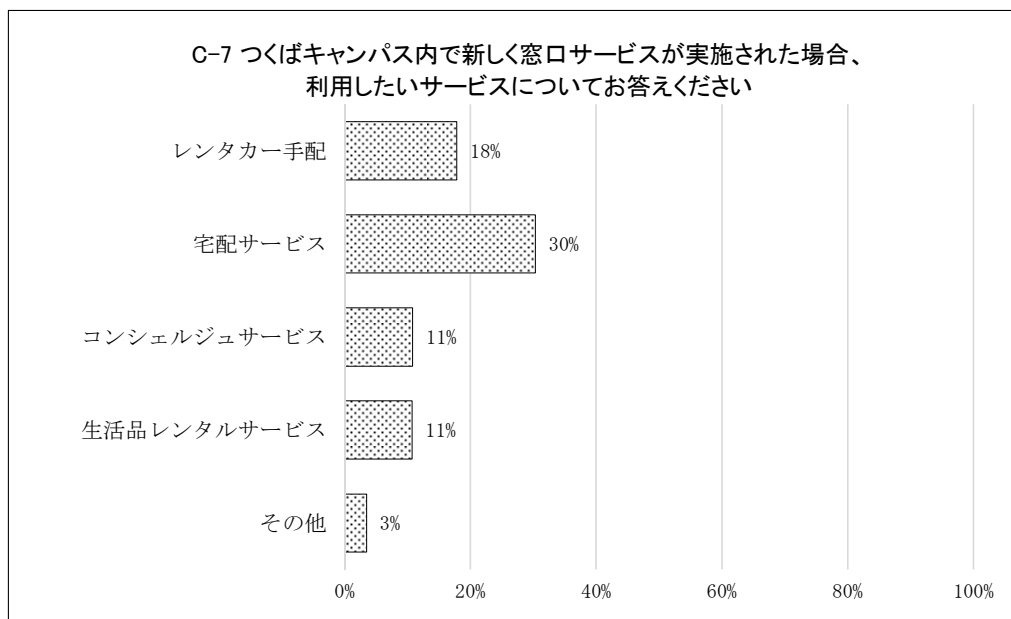
③新設飲食店の利用希望時間

[12:00~13:00]の割合が最も高く、58%であり、次いで[17:00~20:00]の割合が56%であった。以上より、食事の時間帯の利用希望が特に多いことが把握された。



(サ)つくばキャンパス内の新しい窓口サービスに対する意識

つくばキャンパス内で新しく窓口サービスが実施された場合の利用希望については、「宅配サービス」の割合が30%と最も高く、次いで、「レンタカー手配」の割合が18%であった。



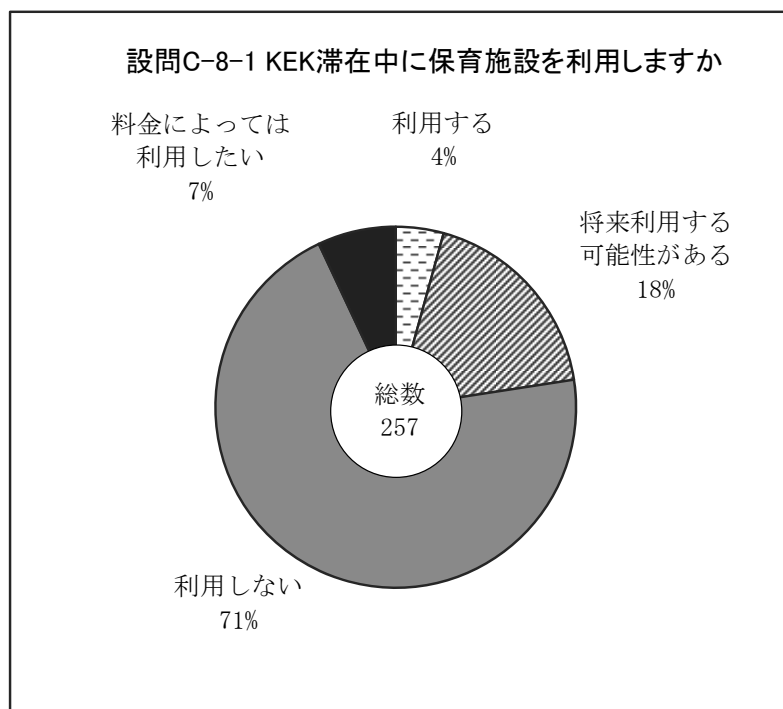
C-7 つくばキャンパス内で新しく窓口サービスが実施された
場合、利用したいサービスについてお答えください。(複数回
答可) [その他]

| | |
|----------------|----|
| 原付バイク、自転車の貸出し等 | 6 |
| その他 | 22 |

(シ) 保育施設の新設に対する利用意識

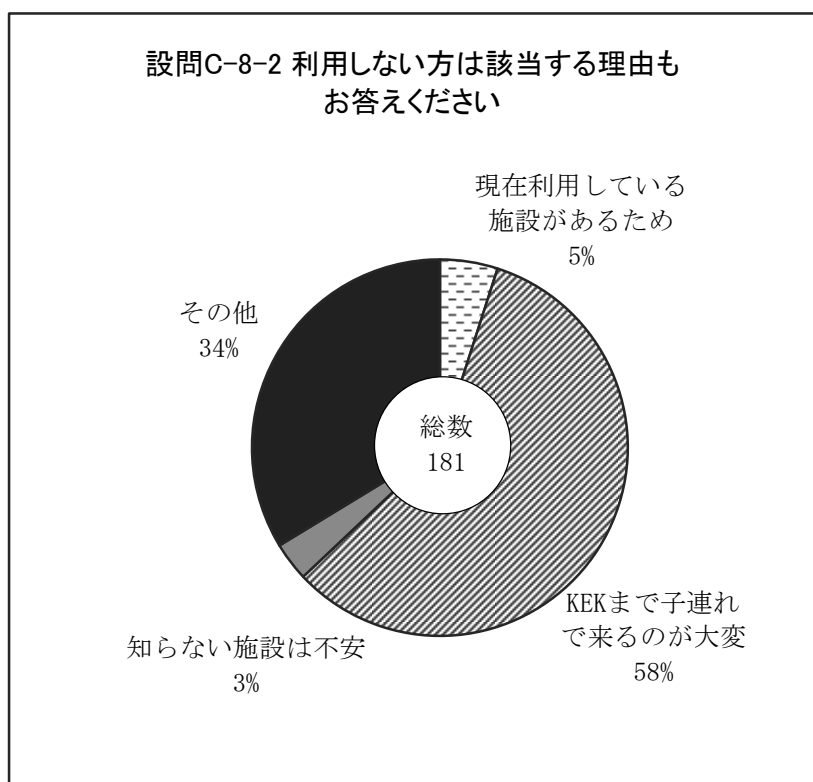
① 利用希望

「利用しない」の割合が71%で最も高く、次いで「将来利用する可能性がある」の割合が18%であった。



②利用しない理由

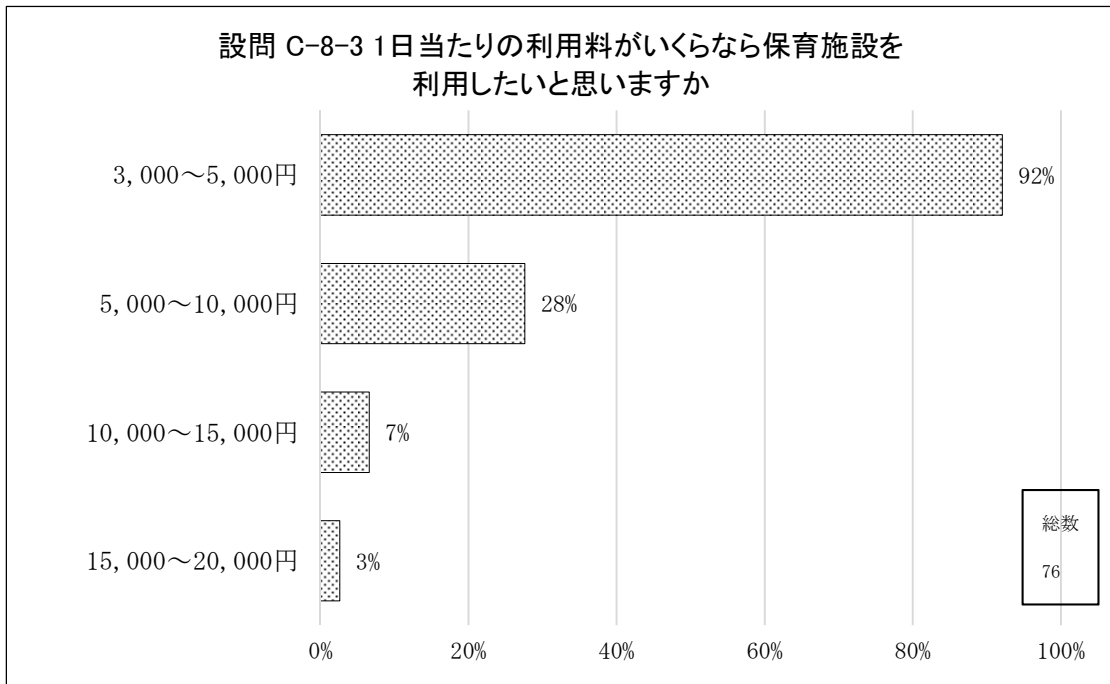
保育施設を利用しない理由は、「KEKまで子連れで来るのが大変」の割合が58%であり最も高かった。次いで、「その他」の割合が34%であり、利用しない理由は様々であると考えられる。



| C-8-2 保育施設を利用しない理由をお答えください。(その他) | |
|----------------------------------|----|
| 子供が大きい | 16 |
| 子供がいない | 8 |
| 子供を連れてこられない | 2 |
| その他 | 10 |

③希望利用料

保育施設の利用料は1日当たり「3,000～5,000円」の割合が92%で最も高く、利用料が上がるほど、割合が低くなっていることから、保育施設の利用料はできるだけ安価であることが望まれていることが把握された。



| その他ご意見等がありましたらご記入ください。 | |
|------------------------|-----|
| 住環境(冷暖房などの快適さ、埃等の衛生面) | 56 |
| 食事環境(メニューの少なさ、コンビニ施設) | 38 |
| 満足 | 31 |
| 食堂等の営業時間 | 29 |
| バス・トイレ付の部屋の拡充 | 17 |
| 現状程度の宿泊料金の維持 | 15 |
| 安定したインターネット環境 | 4 |
| 交通の便 | 2 |
| その他 | 120 |

c. まとめ

回答者の属性は、研究者が 69%であり、大学院学生が 27%であることから、研究を目的とした利用者のほとんどの割合を占めていることがわかった。

宿泊施設の利用頻度は、年に 1～3 回の利用者が最も多く、約半数であった。また、つくばキャンパス内のドミトリーの年間利用回数も、年に 1～3 回の利用者が最も多く、過半数であった。ほとんどの利用者が年に 1 回以上宿泊施設を利用していることがわかった。

宿泊施設を選ぶ際には、「つくばキャンパスからの距離」や「価格」を重視する利用者が特に多いことがわかった。また、ドミトリーを利用しない理由は、「部屋にバス・トイレがない」の割合が 46%で最も高く、約半数が水周りの設備を必要としていることがわかった。

新設ドミトリーの宿泊料金は 1 泊当たり「2,500～2,999 円」の割合が 71%で最も高く、利用料が上がるほど、割合が低くなっていることから、宿泊料金はできるだけ安価であることが望まれていると考えられる。

施設利用者は売店を利用する頻度が高く、利用時間は、食堂、喫茶室、売店の全ての施設で、食事の時間帯であることがわかった。

食堂、喫茶室、売店に対する不満な点や、利用しない理由については、全ての施設で、「営業時間外のため」という理由が最も多い結果となった。

食堂、喫茶室、売店が平日の夜間や土日祝日に営業する場合の、利用希望時間については、現在の施設の利用時間帯と同様に、食事の時間帯を希望する割合が高いことがわかった。

また、つくばキャンパス内で実施している現在の旅トツアーズ（職員会館 1 階）のチケットの手配サービス（航空券、高速バス、JR 乗車券等）の利用頻度については、「ほとんど利用しない」の割合が 89%であり、利用頻度が低いことがわかった。

つくばキャンパス内の生活利便施設新設に対する意識については、「コンビニエンスストア」の割合が最も高く、77%であった。

つくばキャンパス内に新しく施設ができた場合の利用希望時間については、コンビニエンスストアについては、21：00～24：00、飲食店については、12：00～13：00、17：00～20：00 の割合が高い結果となった。

つくばキャンパス内で新しく窓口サービスが実施された場合の利用希望については、「宅配サービス」の割合が 30%と最も高い結果となった。

また、保育施設の新設に対する利用意識は、利用の希望について、「利用しない」の割合が 71%で最も高い結果となり、利用しないという回答に対する理由については、「KEK まで子連れで来るのが大変」の割合が 58%であり最も高い結果となった。保育施設の利用

料は1日当たり「3,000～5,000円」の割合が92%で最も高く、利用料が上がるほど、割合が低くなっていることから、保育施設の利用料はできるだけ安価であることが望まれていると考えられる。